

一、傍線部を口語訳せよ。

1 桧(ひ)垣(がき)の御(ご)といひけむ人に、いかであはむ。(大和物語)

〔

〕

二、傍線部の助動詞の意味を答えよ。

1 増賀(ぞうが)ひじりのいひけむやうに。(徒然草)

〔

〕

2 吉野川岸のやまぶき咲きにけり嶺(みね)のさくらは散りはてぬらむ。(新古今集)

〔

〕

三、傍線部の助動詞の活用形を答えよ。

1 梶原(かぢはら)、たばかりれぬとや思ひけん、やがて続いてうち入れたり。(平家物語)

〔

〕

四、空欄に助動詞「けむ」を活用させて入れよ。

1 を鹿(じか)鳴くこの山里と詠じけん、嵯峨のあたりの秋のころ、さこそはあはれにも覚え()。(平家物語)

〔

〕

五、傍線部の助動詞の意味を次のア～ウから選べ。

〈ア. 過去推量 イ. 過去の原因推量 ウ. 過去の伝聞・婉曲〉

1 変(へ)化(げ)の物にて侍りけむ身とも知らず、親とこそ思ひたてまつれ。(竹取物語)

〔

〕

六、空欄に助動詞「らむ」を活用させて入れよ。

1 唐土(もろこし)にことごとしき名つきたる鳥の、選(え)りてこれにのみある()、いみじう心ことなり。(枕草子)

〔

〕

七、傍線部の助動詞の意味を次のア～ウから選べ。

〈ア. 現在推量 イ. 現在の原因推量 ウ. 伝聞・婉曲〉

1 やどりせし花橋(はなたちばな)も枯れなくなどほととぎす声絶えぬらむ。(古今集)

〔

〕

2 何事思ひ給ふぞ。おぼすらんこと何事ぞ。(竹取物語)

〔

〕

八、傍線部の文法的説明として適当なものを、次のア～オから選べ。

〈ア. 現在推量の助動詞「らむ」 イ. 完了の助動詞「り」の未然形+推量(婉曲)の助動詞「む」 ウ. 動詞の未然形活用語尾+推量(意志)の助動詞「む」

エ. 打消の助動詞「ず」の未然形の一部+推量の助動詞「む」 オ. 形容詞の未然形活用語尾の一部+推量(婉曲)の助動詞「む」

1 有房ついでに物習ひ侍らん。(徒然草)

〔

〕

1 一、
いったとかいう人に

2 1 二、
過去の伝聞・婉曲
現在推量

1 三、
連体形

1 四、
けめ

1 五、
ウ

1 六、
らむ(らん)

2 1 七、
ウイ

1 八、
ウ